

## 平成 28 年度 救急撮影講習会（兵庫）参加報告

姫路中央病院 放射線科 平岩 享恵

平成 29 年 1 月 15 日に兵庫医科大学で開催された救急撮影講習会を受講しました。

今回は主に災害救急についての講習でした。私自身今まで災害を経験したことがなく、恥ずかしながら災害医療について深く考えたことがありませんでした。そんな私にとって、実際に災害現場で活動された先生方の講義はどれもとても勉強になるものばかりでした。

災害診療は一般の診療とは大きく異なります。医療の需要と供給が不均衡な中、手早く的確に診療・治療できる体制が必要とされます。そのため、日頃からの備えなしに、対応は困難です。災害研修・訓練や定期的なマニュアルの見直し、設備の把握、必要資材の確保等、備えに関して過去の経験から学ぶことが多くあると思いました。また、災害急性期だけでなく、災害発生前の準備から、被災後病院業務復旧までの長いスパンでの復興計画マニュアルが、“BCP：業務継続計画” という考えに基づき作成されているようです。

トリアージ実習では、スライドに表示される患者状態から一次トリアージ（START 法）を体験できました。災害現場では患者観察も含めて 30 秒程でのトリアージとなるそうで、一層大変な作業だと感じました。

ひとえに災害対策と言っても、実際には災害の種類や規模、受け入れ施設の規模や設備・方針により対策は各々の病院で大きく異なると思います。今回の講習を受け、すぐに取り組みそうな対策もあれば、正直どうすればいいのか…と思うような規模の大きな対策もありましたが、今一度、自施設の災害対策マニュアルに目を通し、考えるよいきっかけとなりました。

その他、急性腹症講義では腸閉塞・イレウスの定義から読影のポイント、症例まで幅広く勉強できました。救急診療の講義では、放射線技師として、的確な画像を提供することはもちろん、安全で効率的な診療を行うために、チーム医療の中で共通の認識・情報を持って行動することの大切さを再認識でき、1 日みっちり、大変充実した講習会でした。

最後に、雪の舞う寒い中、このような会を開催していただきありがとうございました。講師の先生方ならびに講習会運営スタッフの皆様にご心より御礼申し上げます。

